

## 障害福祉分野における介護ロボット等使用状況報告書

※導入機器ごとの効果や目的等を把握するため、導入機器ごとにそれぞれ作成をしてください。(一体的に利用している機器を除く)

自治体名 千葉県

**【基本情報】**

フリガナ	シャカイフクシホウジンヒスイカイ		
法人名	社会福祉法人翡翠会		
フリガナ	カサ・ロサーダ		
事業所名	カサ・ロサーダ		
施設・事業所種別(指定を複数受けている場合は、補助上限額を適用する施設・事業所を選択)			
グループホーム			
職員数(常勤換算数)【(従事者の1ヶ月の勤務延時間数)÷(事業所等が定めている、常勤の従事者が勤務すべき1週間の時間数 × 4(週))】にて算出(産休・育休、休職は除く)			
6.5 人			
参考情報: 令和元年度から令和4年度に係るロボット等導入支援事業補助実績(複数回補助を受けている場合、補助年度は直近を選択)			
(補助実績)	あり	(補助年度)	令和2年度

【報告に当たっての確認事項】 ※4つの事項について記載内容を確認し、チェックすること。

- 導入経費の算定に当たっては、複数の業者から見積書を徴した。
- ロボット等導入によって得られた生産性向上による業務効率化及び職員の業務負担軽減により超過勤務手当等の経費に金銭的剰余が出た場合には、当該費用を利用者が受ける障害福祉サービスの質の向上や職員の賃金改善に資する取組に適切に使用するとともに、その旨を職員等に周知した。
- 「福祉・介護職員処遇改善加算」を算定した。

**1. 経費実績**

- (1) 補助対象経費の実支出額 811,800 円  
 ※実際に要した費用の総額を記載
- (2) 補助基本額 811,800 円  
 ※施設・事業所別の補助基準額(障害者支援施設:210万円、グループホーム:150万円、その他事業所:120万円)以下の場合は、1-(1)の金額を記入
- (3) 補助所要額 608,000 円  
 ※[1-(2)×3/4]にて算出(千円未満切捨)

(4) 主な導入機器内容(種別・機器名等)

- 機器の種別:  移乗介護     排泄支援     入浴支援  
 移動支援     見守り・コミュニケーション

機器名: 眠りSCAN

機器の特徴: 寝具の下に敷くことで、睡眠状態やバイタルも計測できる

(5) 見守り機器の導入に伴う通信環境整備に係る経費(障害者支援施設、グループホームのみ) - 円

**2. 事業実績**

(1) 機器を導入して感じた課題及び効果(複数回答可)

課題	効果
<input checked="" type="checkbox"/> 1 導入費用が高額である <input type="checkbox"/> 6 使い方の周知や教育・研修等の業務改革の必要性がある <input type="checkbox"/> 2 機器に関する情報が少ない <input type="checkbox"/> 7 法人または施設・事業所としての具体的な方針が足りない <input type="checkbox"/> 3 機器が現場のニーズにあっていない <input type="checkbox"/> 8 機器を活用するための人員体制が足りない <input type="checkbox"/> 4 利用者・職員の安全面に不安がある <input type="checkbox"/> 9 導入・活用する事に利用者・職員に抵抗感があった <input checked="" type="checkbox"/> 5 設置場所や準備・点検等、維持管理が大変 <input type="checkbox"/> 10 その他 (※その他を選択した場合に記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 1 ケアの質の向上 <small>(利用者の自立支援、社会参加・コミュニケーション機会の増加に向けたケアの実施、根拠に基づいた支援の実施等)</small> <input checked="" type="checkbox"/> 2 職員の精神的・肉体的負担軽減 <input type="checkbox"/> 5 職員の確保・離職防止・定着に資する取組の推進 <input checked="" type="checkbox"/> 3 業務の効率化 <input type="checkbox"/> 6 ヒヤリット・介護事故の防止 <input type="checkbox"/> 4 会議や他職種連携におけるロボットの活用 <input type="checkbox"/> 7 その他 (※その他を選択した場合に記入)

(2) 事業所が抱える課題

- ① 利用者様の重度高齢化・虚弱化により、転倒のリスクが高まっている。実際に、夜間におけるトイレでの転倒が複数回起きてしまっている。  
 ② 夜勤職員を十分に配置できない状況があり、2住居12名の利用者を夜間は1名の夜勤者で対応している。

(3) ロボット機器等を導入した業務内容(概要)

夜間3回の巡回・巡視を行っているが、深夜帯の真ん中の回については、眠りSCANの確認をもって安否確認とし、夜勤者の業務軽減となった。また、今までは巡回・巡視の時にしか、利用者様の覚醒・離床といった変化に気づけなかったが、眠りSCANであれば、リアルタイムに検知できる為、夜勤者・利用者ともに安心感が高まった。

## 障害福祉分野における介護ロボット等導入事業経費報告書

自治体名 千葉県

**【基本情報】**

法人名	社会福祉法人翡翠会	
事業所名	カサ・ロサーダ	
職員数(実数)	10	人
施設利用者数	12.0	人

実支出額: 811,800 円

**(1) 障害福祉分野のロボット等の導入に伴う経費**

機器導入費用(合計)	初期設定に要する費用(合計)	値引額(合計)
811,800	-	

No.	導入内容	数量	単価	機器導入費用	初期設定に要する費用
1	眠りSCAN	6 台	135,300	811,800	
2		台		0	
3		台		0	
4		台		0	
5		台		0	
<b>合計</b>				811,800	-

機器の導入経費(購入費用及び初期設定費用)と認められない経費は対象外とする。

**【対象外となる経費の例】**

- ・Wi-Fi工事等通信環境整備に要する経費
- ・機器の配送料
- ・PC、タブレット及びその付属品
- ・工事費(設置費は可能)

※見守り機器の導入に伴う通信環境整備に係る経費(障害者支援施設、グループホームのみ)は補助対象とする。

**(2) 見守り機器の導入に伴う通信環境整備に係る経費(障害者支援施設、グループホームのみ)**

通信環境整備費用(合計)
-

導入内容	金額
費用合計	-

<p><b>備考</b> (特別な事情等があれば記載)</p>	
-------------------------------------	--

※ 本内訳書の資料として、納品書及び領収書の写し(PDFファイルに限る。)を添付すること。